

えべつ 市議会だより

平成27年6月1日発行

No.121

発行 江別市議会
江別市高砂町6番地
電話011(381)1051
編集 市議会報編集委員会
印刷 江別印刷業協同組合



～ 水芭蕉（野幌森林公園）～

新年度一般会計予算は459億1千万円に

主な内容

- ◇ 第1回定例会の概要…………… 2～3
- ◇ 第1回臨時会の概要…………… 3
 - ◇ 一般質問…………… 4～6
 - ◇ 予算審査の概要…………… 7
 - ◇ 意見書、陳情等…………… 8

市議会ホームページ <http://www.city.ebetsu.hokkaido.jp/site/gikai/>

障がいのある方のための、点字とCDによる「えべつ市議会だより」もあります。

〔詳細〕福祉課障がい福祉係 ☎381-1031

平成27年 第1回 定例会

条 例

第1回定例会は2月26日から3月24日まで27日間の会期で開かれました。新年度各会計予算を初め、子どものための教育・保育に関する利用者負担額等を定める条例の制定などの議案33件、意見書案3件、請願1件、陳情1件ほかを議しました。

一般質問は6日、9日及び10日の3日間行われ、9名の議員が市政全般にわたって市長の見解をたしました。

議案と予算審査の内容についてお知らせします。

- ◎子どものための教育・保育に関する利用者負担額等を定める条例の制定
- ◎児童福祉施設設置条例の一部改正
 - 子ども・子育て支援法等の施行に伴い、児童福祉法が改正されたことから、保育所等における利用者負担額や保育料の徴収に関する規定などを市が定めるものです。
- ◎教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の全部改正
- ◎特別職の職員の給与に関する条例の一部改正
- ◎教育委員会の教育長の職務に専念する義務の特例に関する条例の制定
- ◎特別職報酬等審議会条例の一部改正
- ◎表彰条例の一部改正
 - 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正が行われ、教育委員長と教育長を一本化した新たな教育長を置く教育委員会制度へ移行することに伴い、必要な改正を行うものです。
- ◎国民健康保険税条例の一部改正
 - 地方税法施行令の一部改正に伴い、後期高齢者支援金等課税分の限度額を16万円に、介護納付金課税分の限度額を14万円にそれぞれ2万円ずつ引き上げるよう改めるものです。
- ◎手数料条例の一部改正
 - 住宅性能表示制度の改正に伴い、住宅性能評価書を活用した長期優良住宅の認定申請手数料を徴収するほか、建築基準法の一部改正に伴い、市の構造計算適合性判定事務が不要となることから、必要な改正を行うものです。
- ◎墓地条例の一部改正
 - 核家族化等により、墓所の継承・維持管理が困難になるケースがふえていることから、市営墓地やすらぎ苑内に合同墓を建設したことに伴い、申請の要件や使用料等について、必要な改正を行うものです。
- ◎介護保険条例の一部改正
 - 65歳以上の市民が負担する介護保険料は、計画に沿って3年ごとに改定されます。保険料の所得段階を10段階から13段階に細分化し、所得水準に応じたきめ細かな設定とするほか、基準額となる第5段階は5万4千240円から6万720円に引き上げるなど、必要な改正を行うものです。
- ◎指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例等の一部改正
 - 介護保険法の規定により、国の省令を基準としてサービスの事業の人員、設備、運営等について定めた三つの条例について、省令の一部が改正されたことに伴い、各種サービス基準の見直し等、必要な改正を行うものです。
- ◎職員の給与に関する条例等の一部改正
 - 人事院勧告に準拠して、27年度から給与水準を引き下げなど、給与制度の総合的見直しを実施することに伴い、必要な改正を行うものです。
- ◎市議会委員会条例の一部改正
 - 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正により地方自治法が改正され、本会議における出席義務者が教育委員会の委員長から教育長に改められたことに準じ、委員会における出席者を改めるものです。
- ◎行政手続条例の一部改正
 - 行政手続法の改正の趣旨を踏まえ、行政運営における公正の確保と透明性の向上を図るため、行政指導をする際には、相手方に対し、根拠となる法令等を明らかにするなど、必要な改正を行うものです。
- ◎人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部改正
 - 地方公務員法の一部改正に伴い、任命権者が市長に報告しなければならない事項として、職員の休業の状況を加えるものです。
- ◎公平委員会委員の選任
 - ◆本間雅彦氏（錦町16番地の11）の選任に同意。

人事・一般議案

◎市道路線の認定、変更及び廃止

開発行為や江別の顔づくり事業等に伴い、新たに4路線を認定、2路線を変更し、3路線を廃止した結果、市道総数は2千393路線、総延長は831・523kmとなりました。

予 算

◎平成27年度各会計予算

一般会計のほか、4特別会計と3企業会計予算が可決されました。審査経過等については、7ページをごらんください。

◎平成26年度各会計補正予算

◎一般会計 国の緊急経済対策や決算見込みの反映、その他緊急を要するものへの措置などにより、4億4千684万6千円を減額するものです。

◎国民健康保険特別会計

前年度の剰余金を基金へ積み立てるなど9千279万5千円を増額し、予算総額は、138億479万5千円になりました。

◎介護保険特別会計

認定調査費の決算見込みな

どにより、320万8千円を減額し、予算総額は、85億3千581万7千円になりました。

◎基本財産基金運用特別会計

統合校の仮設校舎建設等、事業費の見込みに伴う繰出金の減などにより9千930万円を減額し、予算総額は3億3千270万円になりました。

◎水道事業及び下水道事業会計

事業の確定や決算見込みにより、水道事業は総額で7億155万9千円を減額し、下水道事業は4億1千544万5千円を減額しました。

報 告

◎江別振興公社、スポーツ振興財団、フラワーテクニカ

えべつの事業計画に関する書類 市が出資している公社や財団、株式会社の新年度事業計画が報告されました。

◎専決処分の承認(特別職の職員の給与に関する条例の一部改正)

1月30日付で市長が専決処分を行った条例の一部改正を

承認したもので、職員の不祥事を受けて市長と副市長の2月分の給料をそれぞれ10分の1減額するものです。

第1回臨時会

5月19日

市議会議員選挙後、初の議会となった第1回臨時会で、正副議長を初め各常任委員会など新たな議会構成が決定されました。

◎石狩東部広域水道企業団議会議員の選挙

三角芳明議員、干場芳子議員が当選。

◎札幌広域圏組合議会議員の選挙

三角芳明議員が当選。

◎石狩教育研修センター組合議会議員の選挙

相馬芳佳議員が当選。

◎監査委員の選任

齊藤佐知子議員の選任に同意。

◎農業委員会委員の推薦

石田武史議員、吉本和子議員の推薦を決定。

◎専決処分の承認(市税条例



副議長 干場 芳子



議長 三角 芳明

等の一部改正)

◎専決処分の承認(都市計画

税条例の一部改正)

◎専決処分の承認(国民健康

保険条例の一部改正)

◎専決処分の承認(介護保険

条例の一部改正)

法令の一部改正等により、市長が専決処分を行った条例等の一部改正を承認したもので、軽自動車税の新税率適用の延期、固定資産税及び都市計画税における土地に係る負担調整措置の延長、国民健康保険税の軽減対象世帯の拡大、低所得の高齢者に係る介護保険料率の軽減など、必要な規定を整備するものです。

	議会運営委員	常任委員会			議会報編集委員	図書室運営委員
		総務文教	生活福祉	経済建設		
委員長 委員 副委員長	角田 一子 宮川 正祥 内山 善容 尾田 訪部 相馬 芳典 高橋 逸明 高星 克憲 本間 憲一	相馬 芳弘 内山 祥美 岡村 繁一 齋藤 逸一 高本 憲一 宮本 正忠 山本 由美	尾田 善靖 島田 泰伸 赤坂 武史 石田 佐知 齊藤 直由 清水 真由 鈴木 幸美 角田 和吉	野村 尚志 裏部 君容 諏訪 高典 高橋 克明 徳星 芳直 干場 直人	諏訪 容和 吉本 和子 裏部 直幸 清水 直人	石田 武史 赤坂 伸一 齋藤 一哲 徳田 由美 山本 美子

一般質問

今定例会では、9人の議員が一般質問を行いました。各議員が行った質問の中から2項目を選び、要約して掲載しています。

もりよし
森好
いさむ
勇 議員

日本共産党議員団

江別の顔づくり事業

問 江別の顔づくり事業を考える会と意見交換を行うべきでは。

答 これまでも事業化の早い段階で考える会との面談を行い、広く事業全般について意見交換を行ってきたところである。

建設部においては、毎年、考える会からの意見・要望に対し、文書にて回答を行うとともに、必要に応じて意見交換の場を設けてきた。

今後においても、事業説明会やシンポジウムなどを通じて、広く市民の意見を伺う機会を設けていきたい。

事業評価委員会の設置

問 今後の人口減少を見通し、江別の顔づくり事業を評価す

る委員会を設置する考えは。
答 国は連続立体交差事業について、道では8丁目通りの街路事業について事業評価を行っている。

顔づくり事業は、国、道、市が連携して進めている総合的な事業であり、現在のところ、事業全体の約70%が進捗している。今後、事業に大きな変更の必要性が生じる場合には、大規模評価委員会を設置している道と相談していきたい。

このほか、市長の基本姿勢、住民が主人公のまちづくり、地方創生について質問がありました。

うら
裏
きみこ
君子 議員

公明党

公共施設等総合管理計画

問 公共施設等総合管理計画策定に対する考え方と取り組み状況は。

答 昨年4月に、国から各自

治体に対し、公共施設等を総合的かつ計画的に管理するための基本的な方針を策定するよう要請があり、本市においては、27年度中の計画策定を予定している。計画の対象施設は、全ての公共施設等となつていくことから、組織横断的な庁内検討チームを昨年7月に設置したところである。本市には老朽化が進んでいく公共施設等が多いため、この計画において基本的な方針を定め、各施設の適切な管理等に努めていきたい。

あけぼの団地の管理手法

問 入居世帯が少ない住棟について、管理効率の面から別棟への住みかえを進めるべきでは。

答 あけぼの団地における1世帯のみの住棟については、除雪など、入居者の負担が重く、住棟の効率的な修繕の面からも支障があるものと認識している。

今後とも、住みかえについては、入居者の意向を確認しながら、同一団地内で対応していきたい。

このほか、あけぼの町周辺地域のまちづくりについて質問がありました。

あかさか
赤坂
しんいち
伸一 議員

民主・市民の会

市立病院への繰出金

問 中期財政見直しによると今後一般会計の繰出金は相当な重荷になると思うが、市の考えは。

答 病院事業会計に対する一般会計の繰出金は、不良債務の解消など病院の経営状況を勘案しながら繰り出してきたところである。27年度は約14億円の繰り出しを予定しており、議員指摘の懸念については十分認識している。

今後は、経営環境の変化に対応した病院のあり方について検討を進めるとともに、厳しい一般会計の財政状況を踏まえ、病院みずからの経営努力のもとに総合的な判断に立って繰り出しの考え方をまとめしていきたい。

専門医確保

問 市立病院において専門医の複数体制確保を進めるべきと考えるが、その見直しは。

答 平成16年から医師臨床研修制度が導入されたことにより、大学医局では入局者が減少し、新たな専門医を医局から

ら招聘することが困難となっている。このような中、機会があるごとに医局を訪問し医師の派遣を要請しているが、招聘にはつながっていない。今後は医局への訪問に加え、医師会や連携病院からの情報を活用するなど、さまざまなルートを通じて新たな専門医の招聘に向けた努力を継続していきたい。



市立病院

このほか、改選期の骨格予算のあり方、宿泊施設誘致、定数管理と人事行政について質問がありました。

いしだ
石田
たけし
武史 議員

改革江別無所属の会

電子式水道メーター

問 今後、電子式水道メーター

への更新にかかる費用は市民負担となるのか。

【答】 地上に設置する電子式水道メーターへの更新事業は、中期経営計画において上下水道事業の会計間の負担を調整しながら進めることとしており、基本的に更新による市民への新たな負担をお願いするものではない。

水道事業としては今後とも市民サービスの向上と事業運営の効率化を図り、長期的な安定経営に努めていきたい。

アートによるまちづくり

【問】 アートによるまちづくりの推進について市の考えは。

【答】 市では芸術作品を四季のみちや公共施設など屋内外に展示しており、各公民館のギャラリーは市民レベルの美術展等が気軽に開催でき、芸術を介した交流の場となっている。また、セラミックアートセンターの企画展示室は絵画、書道等、より高いレベルの芸術作品の展示会が開催できる施設として提供されている。

【答】 市教委としては、さまざまな芸術文化活動が活発に行われるとともに、芸術作品を広く紹介していくことはまちづくりを進める上でも望ましい

ことから、今後ともPRに努めて全市的に取り組みたい。



セラミックアートセンター

このほか、ノハナショウブの群生地の保存と活用について質問がありました。

たかはし のりこ
高橋典子 議員
日本共産党議員団

防衛省への個人情報提供

【問】 自衛官募集を目的とした防衛省への個人情報提供の実態と市の考えは。

【答】 21年度までは住民基本台帳法に基づき自衛隊が台帳を閲覧する方法で実施してきたが、平成22年5月に業務効率化のため自衛隊法施行令の規定による資料提供の依頼があり、法令の趣旨に基づき名簿

の提供による方式に変更した。しかしながら、平成26年9月に名簿の提出は義務ではなく、各自自治体の判断であるとの防衛省の見解が示されたことなどから、今後は名簿の提供を改め、住民基本台帳法に基づく閲覧方式により対応していきたい。

公共交通政策

【問】 バス路線空白地域への1日も早い市の対応が必要では。

【答】 現在、市は赤字バス路線の維持に向け支援を行っているところであるが、路線バス事業は一定の利用水準や採算性が前提となるため赤字路線の維持には一定の限界があるものと認識している。

バス路線空白地域への対応策としては、利用者の要求に対応して運行するデマンドバスなど多様な取り組み事例があることから、これらを参考にしながら、その可能性を含めた研究が必要と考えている。今後は、福祉部門などを加えた庁内関係部局による検討を行った上で、地域公共交通会議でも議論していきたい。



よしもと かずこ
吉本和子 議員
日本共産党議員団

投票困難者への支援

【問】 投票の利便性、投票機会の確保という観点から、期日前投票所の複数化について検討すべきでは。

【答】 複数の期日前投票所の設置については、投票所の適正な管理のため、投票管理者や投票立会人など従事者の確保が必要であるほか、重複投票防止のための選挙人名簿の管理方法、会場の確保や設備など解決しなければならぬ問題が多数あることから、現状では難しいと認識している。

しかし、他市の事例や地域の実情など、今後の動向を踏まえ、検討しなければならぬものと考えている。

市営住宅の高齢化対策

【問】 単身高齢者向け住戸の確保と居住水準引き上げのため、狭小住宅2戸を1戸にするなど改修を検討すべきでは。

【答】 狭小住宅2戸を1戸にするような住宅改修では抜本的な改修が必要となり、工事費

も高額となることから現状では難しいものと考えている。空き家となつていている2人以上の世帯向け住宅については、高齢化対策として、居住の安定を図る必要がある60歳以上の単身者向け住戸としての利用を今後検討していきたい。

さかした ひろゆき
坂下博幸 議員
公明党

生活道路の整備

【問】 鉄道高架の完成等に伴い、9丁目通りと白樺通りを結ぶ道路を整備する考えは。

【答】 平成25年12月に9丁目通りが開通し、平成26年12月には、白樺通りの平面化事業について、道による地元説明会が開催されたところである。

今後においては、安全・安心な市街地形成の観点から、白樺通り平面化の進捗状況や交通環境を踏まえながら、当該道路の整備に向けて、補助事業の導入など、財源の確保に努めていきたい。

災害時の水の確保

【問】 断水災害時に仮設給水栓方式により、消火栓からの直

接給水を進める考えは。

【答】 市では現在、避難所となる学校や公共施設などに応急給水所を設置し、そこへ給水車により運搬給水を行い対応することとしている。

一方、消火栓から水を取り出す仮設給水栓方式は、応急給水所を補完する有効な手段であると認識している。

【問】 今後は、消火栓用の仮設給水栓の充実を図るとともに、設置場所や使用方法等を広く市民へ周知するために自治会等との連携を強化し、消火栓の利用促進を図っていききたい。

みやかわ まさこ
宮川 正子 議員
公明党

除雪対策

【問】 青森市のように、雪寄せ場として空き地などの民有地を活用する考えは。

【答】 青森市の市民雪寄せ場事業は、空き地所有者が雪寄せ場として土地を無償で貸し付

けた場合に、その面積に係る固定資産税を4カ月分減免する制度である。

市としては、雪寄せ場の確保と民有地の活用を含めた雪対策について、青森市の事例を参考としながら、例年開催している雪対策庁内推進会議の中で、地域の状況を踏まえ、検討していきたい。

清掃行政

【問】 高齢者や障がい者などのごみ出し困難者に対し、支援を行う考えは。

【答】 平成23年に策定した一般廃棄物処理基本計画において、ごみ出し困難者に対する収集方法の検討を重要な取り組みの一つとして位置づけている。これまで、先進事例の調査研究等を行ってきたところであるが、ごみ出し困難者の定義づけや対象者の把握などの課題から、事業実施には至っていない。

【問】 これまで、要望があった際には個別に対応してきたところであるが、今後は、どのような方法が最適なのか、他市の事例を参考に自治会や地域と相談の上、具体的な検討を進めていきたい。

このほか、地域活性化の推進、医療行為が必要な障がい者と家族に対する支援、介護型ファミリーサポートセンターなどについて質問がありました。

ほしこ よしこ
干場 芳子 議員
民主・市民の会

障がいのある方への配慮

【問】 行政情報の提供に当たっては、点字や音声等による方法を検討すべきでは。

【答】 現在、広報えべつ及び市議会だよりを、視覚障がいのある方に対して、声の広報や点字版として作成するなどの取り組みを行っている。

今後においても、障がいのある方の意見を踏まえた上で、障がい福祉を所管する健康福祉部が中心となり、市教委や学校を含め、全庁的にわかりやすい情報提供等のあり方について検討していきたい。

学校給食の指針

【問】 よりよい給食を目指して、江別市の学校給食の指針等を定めるべきでは。

【答】 学校給食の献立は、学校給食法第8条による学校給食

実施基準をもとに作成しており、衛生管理については、同法第9条による学校給食衛生管理基準のほか、道教委においても詳細なマニュアルを作成しており、これらを遵守することにより、安全性が確保されるものと考えている。



学校給食

このほか、子供の居場所づくり、性的少数者への理解と取り組み、ごみ処理政策について質問がありました。



議会の動き

- 〔2月〕
- 16日 経済建設常任委員会 生活福祉常任委員会
- 17日 総務文教常任委員会
- 20日 議会運営委員会
- 26日～3月24日 第1回定例会
- 26日 予算特別委員会
- 27日 総務文教常任委員会 生活福祉常任委員会
- 〔3月〕
- 2日 経済建設常任委員会 生活福祉常任委員会
- 3日 総務文教常任委員会
- 6日 予算特別委員会
- 6日 議会運営委員会
- 6日～10日 一般質問
- 10日 図書室運営委員会
- 12日～17日 予算特別委員会
- 19日 予算特別委員会
- 24日 総務文教常任委員会 生活福祉常任委員会
- 24日 議会運営委員会
- 26日 議会編集委員会
- 〔4月〕
- 26日 市議会議員選挙
- 〔5月〕
- 19日 第1回臨時会
- 22日 議会編集委員会
- 22日 議会運営委員会
- 27日 経済建設常任委員会 生活福祉常任委員会
- 28日 総務文教常任委員会

予算審査の概要

一般会計ほか各会計の新年
度予算案と条例制定・一部改
正など関連する議案等23件は、
9名で構成された予算特別委
員会に付託され、7日間にわ
たり審査が行われました。

本会議では、一般会計、国
民健康保険特別会計、後期高
齢者医療特別会計、介護保険
特別会計、水道事業会計及び
下水道事業会計は賛成多数で、
基本財産基金運用特別会計及
び病院事業会計は全員一致で、
いずれも原案のとおり可決さ
れました。

主な質疑

問 断水災害などの非常時に
向けた新たな備蓄の取組み
は。

答 平成26年の断水災害を踏
まえ、断水時の初動体制とし
て重要なことは、市民への応
急給水のための給水所の早期
開設と、その給水体制を維持
していくことであることから、
応急給水所に常設できる折り
畳み式給水タンク、車載用の
給水タンク、給水袋などの備
蓄のほか、加圧式給水タンク

車1台を購入し、体制の強化
に努めたい。

問 訪問診療における市立病
院の役割は。

答 市立病院を受診していた
患者のほか、他の医療機関か
らの紹介等により訪問診療を
行っている状況であるが、高
齢化に伴い、がんなどの進行
性疾患で余命が限られている
方や慢性疾患の終末期にある
方が在宅医療を希望されるこ
とがふえている。入院治療が
終了して自宅に戻った後に在
宅療養に移行できるよう、終
末期を含めて継続したフオー
ーを行っているところである。

問 モデル地域を設けた置き
雪処理の試行の考えはないか。

答 置き雪処理については市
内全体の公平性の観点などか
ら特定の地域に限定した試行
は難しいと考える。置き雪処
理に関しては、これまでも福
祉除雪サービスを実施するな
どの対策を講じているほか、
積極的に自治会排雪の浸透を
図っており、今後も置き雪の
軽減に努めてまいりたい。

問 都市と農村交流施設にお
ける6次産業化の推進は。

答 交流施設には、6次産業

化の支援機能として、農産物
加工品の試作のためのテスト
キッチンの設置を予定してい
る。現在、平成27年度の実施
設計に向け、利用する市民や
団体の意見を聞きながら必要
な施設機能を検討していると
ころであり、最終的には、テ
ストキッチンでつくられた試
作品を、可能であれば交流施
設内での販売まで結びつける
中で、6次産業化の推進を図
っていききたい。

問 大学生転入・住民登録推
進事業による住民票登録のメ
リットは。

答 大学生は、住民登録する
ことで、住んでいるまちの選
挙で投票できるほか、写真つ
きの公的な身分証明書となる
住民基本台帳カードをつくる
ことができ、身近なコンビニ
エンスストアで住民票をとる
ことも可能となる。

また、市としても、学生に
住民票を移してもらい、江別
に愛着を持ってもらうことで、
将来的に、江別で活躍する人
材の確保につなげていきたい。

問 平和事業の拡大や平和都
市宣言の生かし方についてど
のように考えるか。

答 市が策定した平和都市宣

言には、恒久平和への願いや
核廃絶・不戦の誓い、相互理
解と尊重など、さまざまな理
念が含まれるが、重要なのは、
市民一人一人が身近なところ
から平和を考え行動すること
と考えている。当市の平和都
市宣言の理念を具体化するよ
うな平和事業について、庁内
の役割分担を含めて検討して
いるところである。



問 大麻地区における住みか
え支援に関して、高齢者が住
み続けるとともに若い子育て
世代を呼び込むための課題は。

答 これまでの相談窓口のよ
うなソフト面の取り組みだけ
では、住みかえ支援はなかな
か進まないと考えている。高
齢者が住み続けるとともに若

い世代を呼び込むためには、
高齢者の受け皿となる住まい
を整えていくことも必要であ
ることから、今後は、企業な
どに大麻地区について関心を
持つてもらえるよう情報発信
などを行うとともに、相談事
業との両輪で進めていきたい。

問 基金残高の今後の見込み
はどうか。

答 27年度末の財政調整基金
と減債基金は、合わせて35億
円弱となる見込みである。現
在は、学校施設の耐震化など
を行わなければならない時期
であり、基金の残高は年度に
よって変動が出るものと考え
ているが、ある程度建設事業
が落ち着いたら段階で積み戻し
をすることにより、40億円程
度は確保するように努めてい
きたい。

- 予算特別委員会委員
- 星 秀雄
 - 尾田 善靖
 - 坂下 博幸
 - 相馬 芳佳
 - 立石 静夫
 - 角田 一子
 - 干場 芳明
 - 三角 好勇
 - 森 好
- 委員長 星 秀雄
- 副委員長 尾田 善靖



意見書

次の意見書を国に提出しました。

◎大間原子力発電所建設の無期限凍結を求める意見書

大間原子力発電所の建設工事が平成24年に再開されましたが、フルMOX燃料を使用する発電はいまだ検証段階であり、また、福島第一原子力発電所の事故による影響等が究明されていない現時点においては、より慎重な対応が求められます。

このため、道南地域における住民の生命の安全、安心と産業を守るため、大間原子力発電所の建設を無期限凍結す

るよう国に要望しました。

◎ドクターヘリの安定的な事業継続に対する支援を求める意見書

ドクターヘリは、医師が救急現場で直ちに医療を開始できる上、搬送時間も短縮されることから、救命率の向上や後遺症の軽減に大きな成果を上げています。医療提供体制推進事業費補助金により、運営主体に対する財政支援が図られています。地域によって出動件数や飛行距離に差異が生じることから、補助金の算定に当たっては地域の実態を的確に反映したものとすることが不可欠であり、また、年々増加する出動件数に対し

て補助金の基準額を適切なものとする必要があります。このため、将来にわたるドクターヘリの安定した運用のために、基準額の改善と財源の確保のほか、必要な支援を国に要望しました。

◎核兵器のない世界に向けた法的枠組み構築への取り組みを求める意見書

日本国憲法に不戦の決意と世界平和という理想の実現への努力をうたい、70年間、国際連合を中心とした平和の拡大に真摯に努力してきた我が国は、唯一の被爆国として核兵器廃絶への取り組みにおいて積極的貢献を果たさなければなりません。

平成27年5月1日就任 江別市議会議員一覧			
50音順			
氏名	住所	電話番号	
赤坂伸一	野幌代々木町26-6	383-4452	
石田武史	大麻高町3-24	387-3309	
内山祥弘	野幌若葉町13-14-301	398-5787	
裏君子	上江別西町14-36	381-3033	
岡村繁美	新栄台51-17	383-9115	
尾田善靖	向ヶ丘1-5	383-8495	
齊藤佐知子	大麻ひかり町50-6	386-7486	
齋藤一	野幌町27-15-203	080-7952-0488	
島田泰美	大麻泉町50-25	384-2165	
清水直幸	一番町25-11	383-5413	
鈴木真由美	錦町17-24	382-6252	
諏訪部容子	大麻東町31-9-201	387-9588	
相馬芳佳	いずみ野6-11	382-0217	
高橋典子	大麻元町158-83	387-1271	
高間専逸	東光町45-8	383-8671	
角田一	高砂町36-3-B201	590-1307	
徳田哲	東野幌町27-5	375-1887	
野村尚志	大麻扇町11-4	386-8650	
星克明	上江別南町50-22	380-5550	
干場芳子	東野幌本町65-10	381-2113	
堀直人	豊幌美咲町52-6	385-1867	
本間憲一	文京台東町11-18-C306	398-8464	
三角芳明	美原190	384-6044	
宮川正子	野幌屯田町44-18	384-5742	
宮本忠明	東野幌町42-14	385-2904	
山本由美子	見晴台86-10	384-0347	
吉本和子	朝日町32-4	382-5659	

会派構成

自民クラブ	民主・市民の会	公明党	江別未来づくりの会	日本共産党議員団
水間高星 田村角本 本島野三 宮山	尾場山坂村木部 千内赤岡鈴 諏訪部	齊藤(佐)川田 宮徳裏馬 相	石田間堀	本橋(一) 吉高齋藤

このため、核兵器のない世界に向けた法的枠組みの一日も早い構築に向けて、積極的な貢献を果たすよう国に要望しました。

請願・陳情

■一部採択となった請願
◎停止している全ての原子力発電所の再稼働並びに大間原子力発電所建設に反対することについて
脱原発！子どもたちを放射

能から守ろう!! 江別実行委員会
代表 島田美智子氏

■不採択となった陳情
◎高齢者等社会参加促進バス助成事業について
精神障害者の会江別空色クラブ
会長 土屋晴治氏

編集後記

今年はやや早く、北海道らしい爽やかな季節となりました。さて、4月の統一地方選挙において、市民の皆様からの負託を受け、27人の市議会議員が誕生しました。市民の皆様からの市議会に対する期待や要望などに積極的にお応えしていくためにも、議員が一丸となり、議会のさらなる活性化に向け、より一層邁進してまいります。

この議会だよりを通して、これからの議会活動をわかりやすくお伝えしていきますので、御支援よろしくお願いたします。